

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | 須賀川地区フットパスコース“盆じゃもの”開設事業 |
| 事業主体 (連絡先) | すがかわ暮らし応援隊 代表 外山 俊 0269-33-6383 Email-shunren@sirius.ocn.ne.jp |
| 事業区分 | ⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト・ハード |
| 総事業費 | 893,102円 (うち支援金: 695,000円) |

事業内容

- ・地区内にフットパスコースを開設、昔の街道「とりで街道」を整備した。併せて村内にもコースを配置し来訪者を招き、人と人との交流を通して地域活性化に導くために体験会を6回実施した。また、町内の小学校や公民館事業にフットパスを提案し、子供たちや住民に歴史や文化を学ぶ機会を作った。
- ・地元の人を対象にガイド研修会を実施、また信州大学の先生による講演会も行い地域への普及も行った。
- ・「フットパス協力の家」を地域住民の理解も得て創設した。



【フットパスの様子】

【目標・ねらい】

- ①フットパスの普及
- ②地域を学ぶ場として活用
- ③人と人との交流
- ④地域活性化

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ☆一部廃道となりつつあった「とりで街道」を整備し、人々が歩く事により、“道”として復活した。
- ☆地域の歴史や文化に触れ、関心を持つことにより人と人との交流が始まり、子供たちの学びの場ともなった。
- ・住民ガイド養成 目標5名 実績2名 達成率40%
- ・協力の家 目標5軒 実績5軒 達成率100%
- ・体験会 目標8回 実績6回開催、達成率75%
人員目標80人 実績36人 達成率45%
- ・地元小学校 19名 達成率100%
- ・北部公民館 20余名 達成率100%
- ・ノルディックウォーキング協会 20名

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・フットパスの“歩く”効果が理解され、併せて歴史や文化を通して様々な人との交流も生まれた。
- ・子供たちが地域の歴史に関心を持ち、故郷への愛着心も育って来て効果が大きかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ☆次年度は新たに2コース(延命地蔵コース、みそずだんごコース)を増設、「フットパス協力の家」も増やすとともに、「協力の家」に野菜試食直売所“農家みせ”も併設したい。
- ☆引き続き、小学校、公民館などにも体験会を提案、他校や他公民館へも提案したい。
- ☆旅行者には旅のアイテムとならないか提案したい。
- ☆感染対策を施しながら、コロナ禍でも出来るフィジカルトレーニングとしてフットパスをアピールし、多くの来訪者を招き地域活性化に寄与したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある